旧余目駅

ダンス カルチャー 庄内町

【第一場】 阿部利勝ソロダンス 「内藤秀因と私」

【第二場】 佐藤あゆ子舞踊詩 「折口信夫に寄り添って」

出演

佐藤あゆ子

阿部利勝

ゲストダンサー

加藤由美（山形市）

ゲスト音楽家

松村知紗

ゲスト振付家・演出

森繁哉

庄内町文化創造館 響ホール （小ホール）

2016.12.03. 開場 午後6：30 開演 午後7：00 〈一般〉前売り 1,500円 当日 2,000円

2016.12.04. 開場 午後1：30 開演 午後2：00 〈学生〉前売り・当日 500円

お問合せ先 劇団響 阿部利勝/090-1495-7403 vet06541@nifty.ne.jp

主催/劇団響 後援/庄内町 この公演は響ホール支援事業から助成を受けています。

第一場
阿部利勝ソロダンス
「内藤秀因と私」

旧余目町出身の洋画家・内藤秀因は、庄内平野の開かれた地平を独特な色彩に転化して、極めて独創的な絵画世界を構築しました。内藤の幼児体験、そしてパリ滞在などの人生譜をダンス化し、風景の深みを捉えていきます。

ダンス　阿部利勝（農民舞踏家）

撮影:土井政美

第二場
佐藤あゆ子舞踊詩
「折口信夫に寄り添って」

国学者、折口信夫は、陸羽西線を通過して余目駅に降り立った強烈な印象を、「近代悲傷集」という詩集に織り込みました。旧・余目駅の風情、そして庄内平野の無限とも思える広がりに詩情を掻き立てられたのです。

その詩情に寄り添いながら、生きる喜び、苦悶などをダンス詩として綴っていきます。山形市から山形県屈指の女性ダンサー、加藤由美をゲストに向かえます。

ダンス　佐藤あゆ子　加藤由美

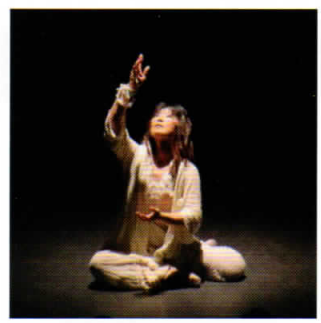
「踊り」が地域文化の一幕を開いていく光景を
ぜひ、ご覧ください。

森繁哉

佐藤あゆ子　*Your Ayuko*

1985 年酒田市生まれ。庄内町在住。大学在学中に西アフリカやインドネシア舞踊ほか様々な身体表現に出会う。「世界聖なる音楽の祭典(Los Angeles)」や、社会問題にアプローチした「コラボラトリー」等出演。2011 年帰郷後、森繁哉に師事。県内外で表現活動を行う。主な参加公演に新潟県　越後妻有アートトリエンナーレ・森繁哉作/フクシマ-痛む者の声-等。森繁哉主宰「巫座」ダンサー。

加藤由美　*Yumi Kato ★Special guest*



山形市生まれ。幼少よりクラッシックバレエを習い、ジャズダンス、エアロビクス、コンテンポラリーダンス等を習得。県内外や海外での創作・発表・指導を続ける。ダンススペース主宰(山形市。1998 年設立)。
東北芸術工科大学身体表現講師。東北文教大学付属幼稚園ダンス講師。
パスラボ山形ワイバンズ　チア＆ダンスコーディネーター。

森繁哉　*Artistic Direction by Shigeya Mori*

1947 年大蔵村生まれ。現代舞踊家。東北芸術工科大学教授・同大学こども芸術大学副学長歴任(民俗学、身体表現)。新潟県十日町市「農と暮らしのミュージアム」館長歴任後、作家活動に入る。現在、舞踊団「巫座」主宰、「地域哲学研究所」代表。
「物語と舞踏」(れんが書房新社)等、著書・編書多数。インタークロス賞、真壁仁・野の文化賞受賞。

スタッフ　*Creative team*

演出助手　井戸川美奈子/舞台監督　池田はじめ(表現集団エッグ・プロジェクト)/照明　庄司大也(山形綜合舞台サービス)/
記録　本間聡美/制作　劇団響

庄内町文化創造館　響ホール

〒999-7781　山形県東田川郡庄内町余目字仲谷地 280
電話:0234-45-1433 FAX:0234-45-1434

チケットお取扱店
【庄内町】響ホール/0234-45-1433
Bookcityとみや/0234-42-1038
あまるめホッとほーむ/0234-43-3900
【酒田市】みずほ八文字屋/0234-22-3144
【鶴岡市】阿部久書店/0235-22-0220